

5月31日から6月25日までの4週間、三沢市立三沢病院の外科で実習をさせていただきました。先生方や看護師の方々、事務の方々に支えていただき、充実した実習期間となりました。

三沢病院に来た当初は、1ヶ月間という長い実習期間を1人でやりきれぬのか、病院に迷惑をかけてしまわないか、など不安が多くありました。ですが、先生方からの「なんでも質問して」という声掛けや、丁寧なご指導のもと多くの手技を実際に経験させていただいたことで、次第に不安よりも楽しいという気持ちが強くなっていきました。今では三沢病院を離れてしまうことが寂しいと感じるほどです。あっという間に1ヶ月が過ぎてしまい、もう少しここにいたいと思っております。

実習では、回診、手術等に参加しました。回診や手術の中で、ドレーン抜去、抜鉤、腹腔鏡手術のカメラ操作、縫合など、多くの手技を経験することができました。円滑に作業を進められず、先生方や看護師の方々にはご迷惑をおかけしてしまったと思いますが、繰り返し挑戦させていただき、その度にご指導いただき、感謝してもしきれません。また、多彩な手術症例を術野に入ってみることができました。手術の目的は同じでも、患者さんの状態や病態などによって、先生方が臨機応変に対応する姿はとてまかつよかったです。

三沢病院での1ヶ月を通して、医師になるという自覚を本格的に持たなければいけないなと思っておりました。今までの実習は、見ているだけ、考えるだけのことが多く、診療や手術をしている医師の存在が自分より遠いものを感じていました。ですが、三沢病院での実習では、見る・考えるに止まらず実践してみることが多くあり、何かを実践する度に、数年後には、先生方のように手技や診察、治療計画の立案などを自分の力で出来るようにならなければいけないという実感が湧きました。自分が将来医師になるのだという視点がより強くなると、実習への考え方も変わり、より積極的にならなければいけないと思うようになりました。今後、研修医になるまで、この気持ちを忘れずに実習や座学に励んでいこうと思っております。

外科の松本先生、池永先生、久保先生をはじめとした三沢病院の先生方、手術室や病棟でお世話になった看護師の方々、毎日拙い診療に対応して下さった担当患者さん、管理課の工藤さんをはじめとした事務の方々など、実習に関わって下さった全てのスタッフの皆さんに感謝申し上げます。皆様のおかげで、楽しいと感じながらも自分の課題が見つかる、大変充実した実習になりました。

最後になりますが、担当患者さんをはじめとした1ヶ月間で関わった患者さんが、より良い生活を送ることができるのを祈っております。

1ヶ月間、本当にありがとうございました！



2021.5.31~2021.6.25